広報
社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて

セバストガチョウ号

Gosho Nursery And Children's Recreation Center

No.233
11月号
2022

先月の子どもたち

明日に向かって よ～い、どん !!

こども園便り　御所・御所風の子こども園

三年ぶりの谷山ふるさと祭り

待ちに待った谷山ふるさと祭りに出演します。可愛いい衣装に変心した子どもたちが、息を合せてパーランクを叩くのを楽しみにしています。

魚の触れ合い体験（十月十四日）

鮮魚店のイワキさんから生きた魚を借りて、触る体験をしました。「鱗がザラザラする」などの声が聞かれました。跳ね上がる魚にびっくり！貴重な体験となりました。

（以上、主幹教諭　下窪）

10月生まれ誕生会

給食便り

さつまいも収穫　（十月十二日）

御所風の子こども園横の畑で収穫した、大きなさつまいもに子どもたちはビックリしていました。子どもたちから「お芋のてんぷらが食べたい」とリクエストをもらいました。

急須でお茶入れ体験　（十月十四日）

『急須』を見て「これ何？」と質問する子どもが半数近くいました。ペットボトルのお茶しか知らない世代だからこそ、急須で淹れるお茶の美味しさを知って欲しいと思います。

（以上、栄養士　前田）

健康便り

保健指導『目の健康について』（十月十二日）

三、四、五歳児を対象に実施しました。目の働きや仕組みについて学び、目を守るために大切なことを考えました。子どもたちは、「目を怪我をしたら見えなくなる」「目をぶつけないようにする」と発表してくれました。

目を健康に保つためには…

- 目をこすらない
- 本を読むときやテレビを見る時は近づきすぎない
- テレビは長時間見続けずに休憩を取る
- 一日三食、主食、主菜、副菜をしっかり取る
- 異常があったらお医者さんに見てもらう

安全便り

事故訓練『食中毒』（十月十八日）

こども園で食虫毒が発生した場合、私たち職員はどのようにすれば感染を最小限に留め、迅速に対応できるかを考えながら訓練に臨みました。

日頃から食中毒発生予防と子どもたちの健康観察に気を配っていきます。

子どもの衣服は安全性を考えて選びましょう

子どもの衣服が原因で事故が起こることがあります。フードや紐、リボンがドアや家具、遊具に引っ掛かり転倒したり宙吊りになったりする危険性があります。デザイン性や快適性の他に、安全性を考えて選びましょう

（以上、看護師　兼廣）

ホッと!!スナップコーナー

今月のテーマ　『とんぼのめがね♪』

御所風の子ども園の園庭にお散歩に出かけました。沢山のトンボが飛んでいた様子を「何色のメガネにしようかな～」と目や模様を丁寧に描いて、工夫しながら仕上げていました。（有馬）

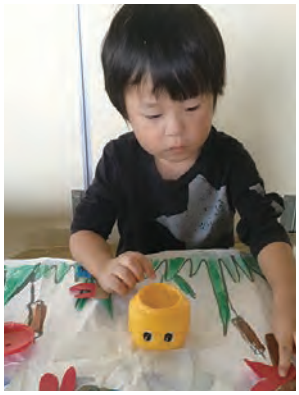
前原碧斗（まえはらりくと）さん

田中凰花（たなかこうか）さん

北薗涼苗（きたぞのすずな）さん

「ぼく、赤色めがね～」「ピカピカめがねがいいー」「ぼくはいろんな色がいいー」と言いながら作りました。

谷頭朔（たにがしらさく）さん



的野悠聖（まとのゆうせい）さん

柴田聖司（しばたせいじ）さん

どの向きに貼るのかをよ～く考えて、のりの分量も少しずつ分かるようになりました。のりを付けて、裏返して「トントン」と言いながら貼っています。

自分の作ったトンボやコスモスを大切そうに見つめていました。室内に飾ると秋を感じる雰囲気になりました。

児童クラブ便り　児童クラブ未来

天高く馬肥ゆる秋

秋晴れのとても気持ちの良い天気に恵まれた土曜日、五ケ別府町にある鬼塚望岳園にみかん狩りに行ってきました。

段々畑に、子どもの手が届く程の木が何十本も並び、オレンジや緑のみかんがたわわに実っていました。子どもたちは、一人ひとりハサミとカゴを手にどれが甘いか味見をしながら吟味し、お土産のみかんを獲っていました。なるべくみかんのなり口に枝を残さないように切ること、木の上の方が甘いことなど、体験したが故に分かったことや気付いたことがたくさんありました。

みかん狩り

冬野菜の苗植え

（以上、クラブ長　高﨑）

学童新聞作りについて

学童新聞は、四年生が中心になり毎月五人ほどで作っています。時々、五、六年生も加わってお手伝いをしてくれています。

始めに、テーマを考えて誰に何を伝えたいかを決めます。その対象者（保護者、園児、小学生）に向けての言葉選びも考えて行います。

今年度は、『私たちの町紹介』というコーナーを作り、町自慢や身近にあるステキな場所、人などを取り上げる紹介しています。地域にある公共の施設や公園の紹介をする際には、実際に足を運んで取材しています。

さらに、児童クラブでの遊びや行事、製作を載せたり、地球環境のためのリサイクル活動やSDGsについて学んだりしたことを記事にしています。

子どもたちに、新聞作りをしていて楽しいことについて聞いてみました。

「色々な所に行って、人に色々な質問して取材をすることが楽しい」

「タブレットや本を使って、自分で気になることを調べる作業が楽しい」

子どもたちは新聞作りを通して、伝えることのおもしろさを感じているようです。

（以上、放課後児童支援員　大原）

学童新聞

朝夕の気温がだいぶ低くなり、秋を肌で感じるようになりました。体を動かすのにちょうどいい気温となり、ドッジボールや野球、なわとびなど毎日元気に遊びを楽しんでいます。（四年　池田）

何して遊ぶ？

野球

高跳び

オニ

ジャンケンいも虫

エコ活動

〈冬野菜の苗植え〉（十月一日）

一年　ブロッコリー　二年　芽キャベツ
三～六年　小カブ・ベビーキャロット
収穫が楽しみです。（三年　北薗）

〈みかん狩り〉（十月十五日）

鬼塚望岳園にみかん狩りに行きました。果樹園の方に段々畑の意味やおいしいみかんの見分け方、収穫の仕方など教わりました。たくさん食べました。（四年　一氏）

私たちの町紹介

『諏訪南方神社』

毎年一月七日に、児童クラブのみんなとお参りに行く諏訪南方神社は、西谷山小学校の近くにあります。この神社には『建御名方命（タケミナカタノミコト）』（武の神）と『事代主命（コトシロヌシノミコト）』（商売はんじょうの神）の、二人の神様が祀られているそうです。神主さんに、お参りの仕方や神様にお願いごとをする前に感謝することが大切だと教わりました。私たちの町を見守ってくれている神様に感謝します。（四年　小薗）

記者　池田・内村・小薗・一氏・福迫・北薗

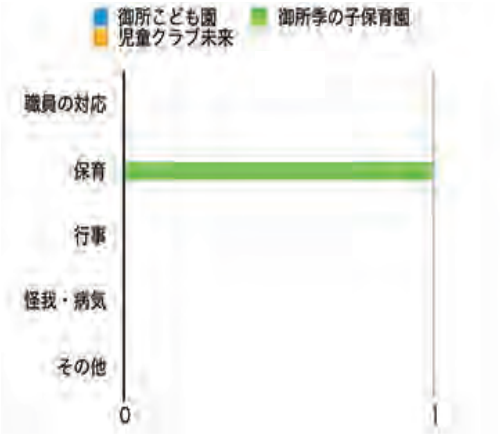
親コラム

意見・要望等解決報告

当法人では、時代のニーズにあった保育の質の向上に努めています。これまで提供してきた保育内容や保育の質を、保護者の皆様や子どもたちの視点から見つめ直し、改善していくことで、園の『信頼感』『満足度』『保育の質』を高めていくことが必要だと考えています。
保育の質を向上させるための取り組みの一つが、保護者の意見や要望などを聞く『苦情解決』のシステムです。保護者の皆様とより良い関係を築いていくため、意見や要望などを通じて園の改善を行うため、苦情解決の窓口を設けています。また、第三者委員の設置や御所こども園、児童クラブ未来では、意見・要望箱『みんなのこえポスト』も設置しております。お気づきのこと、改善して欲しいことなどありましたら、ご遠慮なくお伝えください。

令和４年度　上半期　意見・要望等受付件数

令和４年度上半期の要望等の受付件数は、法人全体で１件でした。
内訳は右のグラフのとおりです。寄せられた要望につきましては、法人全体で周知徹底を行い、適切に対応しています。具体的な内容についてはホームページでもご覧いただけます。
今後も、保護者・利用者の皆様の声を真摯に受け止め、さらなる福祉サービスの向上に努めていきたいと思います。



（以上、保育向上グループ）

今月のコラム

Gosho Baby News

このページは、御所風の子こども園や御所季の子保育園の０，１歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をお届けするコーナーです！

離乳食の進め方

赤ちゃんが成長すると、母乳や育児用ミルクなどの乳汁だけではエネルギーや栄養素が不足するようになります。『飲む』から『噛んで食べる』へ移行するためには、食べ物に慣れることが必要です。その過程を『離乳』といい、なめらかにすりつぶした食べ物から離乳を開始します。成長に応じて、エネルギーや栄養を補う食事が『離乳食』です。

1. 離乳食を始めるサイン

離乳食を始める目安は、首がしっかり座っている、寝返りがうてる、食べ物に興味を示す、スプーンで口に入れても舌で押し出さなくなる、などのサインが見られる５～６ヶ月頃です。

2. 離乳食の始め方

最初はアレルギー性の低いおかゆからスタートです。おかゆを１さじから始め、２～３日に１さじのペースで増やしていきます。

☆ 進め方のポイント☆

・赤ちゃんに合わせて大人もゆっくり食べる
・食事補助の際は、舌の奥に入れて完全に飲み込んでから食べさせる
・自分で食べることに興味を持ったら、手に持って食べやすいものを用意して自主性を尊重する

今回は、離乳食の始め方や進め方についてお伝えしました。市販のベビーフードなども適宜利用しながら、まずは子どもが食材に慣れていくことが大切です。焦らずにゆっくりと、子どものペースに合わせながら楽しく進めていってください。

（以上、食育グループ）

保育園便り　御所季の子保育園

朝晩の温度差も大きく変化し、落ち葉も舞う季節となりました。

子どもたちは、散歩に出かけ落ち葉やどんぐり拾いを楽しんでいます。これから、気温が低くなり体調を崩しやすくなる時期になります。流行する感染症に気を付けていきたいと思います。

交流保育 Go5Day　（十月六日）

御所こども園の子どもたちとの月一回の交流保育。今回は、田んぼへ散歩に行きました。田んぼでは、バッタやメダカ探しを楽しみました。友だちとの触れ合いもたくさん見られましたよ。

（以上、主任保育士　永田）

ホッと!!スナップコーナー

健康便り

十一月九日は何の日？

「一一九番の日」はすぐに思い付くのではないでしょうか。実は、今注目されているのは「一一（いい）九（くうき）」（良い空気）と読む語呂合わせから『換気の日』とされています。

肌寒くなってきたので、窓を開けるのもためらうかもしれませんが、汚染物質や湿気などを室外に排出し、新鮮な外気を入れて、室内を綺麗な空気に保てるよう努めてみましょう。

園医内科診察の案内

十一月十日（木）十五時～

園医内科診察を行います。登園のご協力とお迎え時間の調整をよろしくお願いします。

（以上、看護師　下之薗）

給食便り

『さんまの塩焼き』（十月十四日）

今回は、さんまの塩焼きをしました。塩を振ったさんまを手で揉みながら「ぬめぬめする」「大きい」と、子どもたちは興奮しながら取り組んでいました。次に、園庭に準備した炭火で、塩揉みしたさんまを焼き上げました。香ばしい匂いにつられて、他のクラスの子どもたちも見学にやってきました。

子どもたちは、焼き上がったさんまの身を上手にほぐして食べていました。

《十月の献立より》

『肉みそうどん』

【材料】（五人分）

- 茹でうどん…五百グラム
- 豚ひき肉……二百グラム
- 人参……五十グラム
- 片栗粉……七グラム
- 干し椎茸……三グラム
- ピーマン……三十グラム
- 玉ねぎ……百グラム
- （A）米みそ…二十グラム
- 片栗粉……七グラム
- （A）砂糖……十グラム
- 油……適量
- （A）酒……五グラム

【作り方】

①干し椎茸を水でもどす
②玉ねぎ、人参、ピーマンを小さく切る
③②で切った野菜をレンジにかける
④うどんを茹でる
⑤フライパンに豚ひき肉を入れて炒める
⑥⑤に火が通ったら③の野菜を入れる
⑦⑥に（A）の調味料を入れて炒める
⑧⑦に水溶き片栗粉を入れてとろみをつける
⑨うどんをお皿に盛り、⑦をかけて完成

（以上、調理員　園山）

G.K.M編集局

Gは御所のG。Kは風の子のK。Mは季の子、未来のM。ここでは、各施設に関する様々な情報をお送りいたします。

Bambini 移動おもちゃ図書館Bambini

『移動おもちゃ図書館バンビーニ』は月に１回、公園や福祉館などで開催しています。木製の玩具が大半で、自然な温もりと音色に子どもたちはもちろん、お父さんお母さんも興味津々。大人も楽しみながら、子どもと一緒に遊べる環境です。季節によって、場所や玩具の種類を選んでいます。例えば、夏場は子ども用のプールを準備して涼しく遊べるようにしたり、冬場は屋内で活動したりしています。ポスターやホームページで案内しています。ぜひ、遊びに来てください。

／カタカタ早く＼
動いてるよー！

いろんな音がするね♪
＼こっちはどうー？／

／どのおもちゃで＼
遊ぼうかなぁ

貨物列車
＼しゅっぱーつ！／

【次回のバンビーニ】
日にち：10 月 28 日（金）
時間：10 時～ 12 時
場所：港緑地公園

／
何のお料理を作ろうかな♪
＼

この他、地域の子育てサロンからの依頼を受けた活動もしています。これからも地域の方と楽しい時間を過ごせるように工夫していきたいと思います。

（以上、保育向上グループ）

編集後記

朝晩が涼しくなってきました。望園前のキンモクセイの匂いも、秋の訪れを教えてくれます。キンモクセイはジンチョウゲ、クチナシと合わせて、日本の三大芳香木の一つに数えられています。開花日数は、三～四日と短く、強い雨、風にあたればたちまちに散ってしまいます。子どもたちは「匂いがするね」と言ったり、足元に落ちたオレンジ色の花を拾い集めたりして楽しんでいます。子どもたちが、身近な所で感じた『季節の変化』を見逃さないようにしたいと思います。

来月号のセバストガチョウ号をお楽しみに！　（月野）

セバストガチョウ号　2022 年 11 月 1 日発行
〒 891-0116　鹿児島市上福元町 5682 番地　御所こども園　TEL:099- 268 - 5122　e-mail:info-gosho@seihoufukushikai.jp　HP:https://seihoufukushikai.jp
発行・編集／社会福祉法人清豊福祉会福祉会広報グループ　　印刷／御所こども園　9 月 21 日～ 10 月 20 日の記事を掲載しています